

平成24年度 第9回府中市環境審議会会議録（要旨）

平成24年11月6日（火）
午後6時半から8時半まで
府中駅北第2庁舎3階会議室

- 1 出席委員 安藤正邦委員、海藤茂委員、戸田忠良委員、中嶋正樹委員、石上祥光委員、石谷真喜子委員、増山弘子委員、金子富紀委員、竹内章委員（副会長）、塚原仁委員、朝岡幸彦委員（会長）、田中あかね委員、室英治委員（13名）
- 2 欠席委員 比留間吉郎委員、馬場利之委員（2名）
- 3 事務局 加藤環境政策課長、遠藤環境政策課長補佐、渡邊環境改善係長、監物環境保全活動センター整備担当理事、環境改善係海野サンコーコンサルタント(株)3名
- 4 傍聴者 2名
- 5 議事 報告
(1) 第2・3・4回府中市環境基本計画市民検討会の開催報告
議題
(1) 市民アンケート、事業者アンケート、小・中学校アンケートについて
(2) 府中市環境基本計画第3章・第4章・第5章について
(3) その他
- 6 資料
・第8回環境審議会議事録
資料1 市民検討会の開催経緯
資料2-1 第2回府中市環境基本計画市民検討会〈議事要録〉
資料2-2 第3回府中市環境基本計画市民検討会〈議事要録〉
資料2-3 第4回府中市環境基本計画市民検討会〈議事要録〉
資料3 市民アンケート・事業者アンケート修正対応表
資料4-1 環境に関する市民アンケート調査のお願い【修正案】
資料4-2 環境に関する市民アンケート設問設定資料
資料5-1 環境に関する事業者アンケート調査のお願い【修正案】
資料5-2 環境に関する事業者アンケート設問設定資料
資料6 府中市の環境づくりについてのアンケート調査 小学生用・中学生用
その他 市内の土壌中の放射性物質測定結果

【要旨】

(1) 市民検討会での開催報告

第1回(8月31日)自己紹介、現行計画の内容の確認、今後の進め方について検討した。

第2回(9月27日)府中市の環境の現状と課題について二つのグループに分け、重点施策の各内容に基づくワーキングを実施した。

- ・ Aグループのテーマは、重点施策1「多摩川や湧水、崖線や浅間山などからなる水と緑のネットワークを守り、育てます」、重点施策2「府中市のランドマーク馬場大門けやき並木や大國魂神社などの歴史的景観を保全します」、重点施策3「農地を保全し、農業と調和のとれたまちづくりを進めます」について検討した。
- ・ Bグループのテーマは、重点施策6「自然エネルギーの利用や省エネルギーを推進し、二酸化炭素排出量の削減に努めます」について検討した。

※その後、各グループによる発表

第3回(10月18日)二つのグループに分け、府中市の環境の現状と課題について重点施策の各内容に基づくワーキングを実施した。

- ・ Aグループのテーマは、重点施策8「校庭の芝生化(草地化)などを進めるとともに学校のエコスクール化100%を目指します」、重点施策9「すべての市民が自然とふれあい環境学習に取り組む仕組みをつくります」、重点施策10「市民や事業者、大学などの教育研究機関と行政とのパートナーシップを築きます」について検討した。
- ・ Bグループのテーマは、重点施策5「1年間でごみの50%削減を目指します」、重点施策4「ダイオキシン類など、有害化学物質対策を推進します」について検討した。

※その後、各グループによる発表

第4回(11月1日)前回から引き続き、二つのグループでワーキングを実施した。

- ・ Aグループのテーマは、重点施策3「歩きやすく、自転車に乗りやすいまちづくりを進めます」について検討した。
- ※その後、グループによる発表
- ・ Bグループでは、新しい計画における重点施策について検討し、その後、全体でワーキングを実施した。

今後は、第5回を11月29日木曜日に開催し、議題は「新しい計画における重点施策について」検討する予定である。

第6回は、12月10日月曜日の開催し、議題は「新しい計画における重点施策について」及び「新しい計画の全体に対する提案について」検討する予定である。

(2) アンケート調査について

- ・ 前回、市民・事業者アンケート等について、四つのアンケートを実施することで確認した。ただし、アンケートの調査項目に修正があるとのことで、市民アンケートは、竹内副会長に相談・確認し作成することとし、事業者アンケートは、業種の分類など、府中市の実情に合う分類をすることとした。農業者アンケートは、比留間委員に相談・確認し作成することとし、小・中学校アンケートは、アンケート調査案を本日の審議会の

議題としてまとめて提出すること、という経過であり、本日、協議する。

(市民アンケート)

- ・ 環境基本計画で市民がするもののうち、実際に実施していることは何かの設問（問10）を追加し、どの程度、実施しているのか中身も知りたいので、4段階に分け22項目を調査する。基本的には、日頃、市民にしてもらいたいことを抽出する。その他、各委員からの指摘事項の修正があった。
- ・ 実施は11月末に送付し、12月を目途に回答をもらう予定とする。

(事業者アンケート)

- ・ ISOの関係で、事業者がどれくらい取り組む姿勢があるのか、現状はどうかをある程度把握しながら、これから支援できること、行政として事業者を提供しないといけないことを知りたい。この部分は、かなり細かく聞きたい。大企業のほとんどが取っていると思うが、中小企業にどれくらい関心があるか、これに取り組むことによって、事業者が環境に配慮した事業活動を行えるので、この設問はキーポイントと考える。
- ・ 実施は11月末に送付し、12月を目途に回答をもらう予定とする。

(農業者アンケート)

- ・ 現在作成中のため、次回に提出する。
- ・ 比留間委員と調整し実施する。

(小・中学生アンケート)

- ・ 指導室と調整し、次のとおり作成した。(今後、教育委員会と協議し、学校へ提出予定)
- ・ 小4・小6・中2を対象に、小学校は高学年とし、クラス毎ではなく学年毎に実施する。中学校はクラス毎でも可能とのことであるが、小・中学校共に全校の実施は、難しいとのことである。
- ・ 内容は、A4版用紙で表面のみ、設問数は5問程度で、○×又は3択とし、5分程度で答えられるものをとのことである。
(意見)： 芝生化になった学校とこれから芝生化を予定している学校があるが、「芝生化になりました」と書いてあるので、聞き方が違うと思う。
(回答)： 指導室から、校庭が芝生でなかったが近年に芝生になった学校で聞いた方が良いのではないかと助言をいただいた。
- ・ 実施は年明けになる可能性がある。

(3) 府中市環境基本計画、第3章・第4章・第5章の検討

(体系のフレームについて)

- ・ 環境基本計画に関するロードマップでは、本年度、我々の任期中は基本的に中間答申を出し、次期審議会の1年目で環境基本計画を策定し、確定することとなっているため、議論の仕方が難しい。任期中に全てをするわけではないので、詰めすぎるとつじつまが合わなくなることがある。総合計画がまだできていないので、総合計画の内容により、変更する部分が出る可能性がある。
- ・ 4章・5章が最終的に、次期審議会の議論になるので、4章・5章を考えるうえでの枠組みと基本的な考え方を中心に本日、議論したい。
- ・ G「地球的視野に立って地域の中で行動します」が、一つだけ別枠なのは、位置づけしづらいので、④の「資源の循環するまちを目指して」に入れ込むとの提案ですが、本

当にそれで良いのか。

- ・ 行動の内容で一番大きいのは、資源の循環をすることで、リサイクルなど市民活動と思われることから、中身を協議していき、特出しをする考え方もある。
- ・ 理念的な話で、望ましい環境像の下に位置づく話なのに、具体的に落とし込んだ時に、リサイクルの話にすると矮小化すると思う。CO₂の削減などいろいろな問題があるので、全部にかかってくる。
- ・ リサイクルは手段であり、何のためにリサイクルをするのかは、地球資源を有効に使うためにするものである。企業では4R・3Rが重要視され、来年度は3Rを推進する法整備もされると聞いているが、リサイクルがここに入るのは細かい気がする。
- ・ 基本方針・基本目標・個別目標が非常に重層的で煩雑な印象がある。個別目標は網羅しないといけないが、基本方針があり、基本目標でわかれて、個別目標にする立て方がややこしいのでシンプルにできないか。
- ・ 基本目標はないといけないのか。基本方針の言い方を変えれば、基本目標が無くても個別目標につながると思う。基本計画は三段階でないといけないなどルールがあるのか。
- ・ これでなくてはならないというルールはない。基本方針から個別目標に繋がっても構わない。
- ・ シンプルにした方が理解しやすいと思う。基本方針と基本目標が内容的にほとんど一緒なので、階層はできるだけシンプルな方が良い。
- ・ 重点施策を設定するにあたっては、緊急性があるもの、重要性の高いもの、府中らしさという三つの視点で設定した。
- ・ 審議会としては、市民検討会の議論をできるだけ踏まえ、反映させた計画を作りたい。個別目標にあたる部分は市民検討会の議論を待ってから埋めたい。網羅されて、抜けがあってはいけないので、最終的には、市民検討会で出なかったものについて、審議会で追加する作業が必要である。
- ・ 基本方針は一本にしてすっきりさせて、良い案が出るまで、「地球的視野に立って地域の中で行動します」を、基本方針に書き込み、基本目標のくくり方について、個別目標を睨みながら再度議論する。個別目標は市民検討会の報告を踏まえて、1月の審議会で決める。個別目標は市民検討会の結果を事務局で整理すること。個別目標のくくり方として、どうくくる方が良いのか提案すること。

(重点施策)

- ・ 重点施策に何を立てれば良いのか、現行計画にこだわらず、現状に即して自由に発想して良いと思う。数にこだわらずに、最優先で取り組むべき施策は何なのかという視点で議論したい。
- ・ 重点施策はプライオリティを付けて優先順位の高いもの、10年間で確実に達成しないといけないものを行うということでは、全ての施策を網羅する必要が無い。本当に緊急性の高いものを重点施策に取り込む必要がある。
- ・ プロジェクトとしての意味合いで再整理を行いますとの事務局の提案は、現行の計画では、個別目標と重点施策は全て線で結ばれているが、線で結ぶ必要が無い。個別目標はすべて個別の施策を持っているが、その中で優先的に取り組むべきものは何なのかと言う考え方で重点施策決めたらどうかとの提案である。
- ・ 前面に3Rを出すと良いと思う。3Rはリサイクル、ごみ問題などの関連が出てくる。
- ・ 放射能問題は掲げる必要がある。
- ・ 「歩きやすく、自転車に乗りやすいまちづくりを進めます」は、すべての人にやさしいまちづくりということなので、重点施策に掲げる必要があると考える。
- ・ 自転車と歩行者を優先したまちづくりを掲げると、反対に自動車を規制しなければな

らない。自動車の規制を施策化しながら提案しないといけないので、やるなら本気でやらないといけない。そういうことも含めて重点施策を考えないといけない。

- ・ 自転車も増えるのは良いが、増える弊害も出てきている。放置自転車の問題など、施策としてあげた方が良くと思う。
- ・ 自転車について、専用道が市内にどれ位の割合で設置されているのか、駐輪場がどれくらい整備されているのか、データを提出すること。
- ・ LED化も必要であり、公園、街路灯などで、一部LEDが使われている。
- ・ 3. 1 1以降、太陽光設置などの省エネとしては、省エネ商品の設置を進めていくべきであるとの要望があがっているが、経費面もあるので、抜本的に全てを変えられる状況にはなっていない。基本的に太陽光設置は新築、改築時に、また、街路灯は取り換え時を中心に順次入れ替えていく方向である。
- ・ LED化は大事な施策になるが、具体的にどの位の施設で実施されているのか分からないので、LED化を進めることは重点施策になるので、データを提出すること。
- ・ 府中市の農地がどれくらいあって、実際に使われている農地はどれくらいあるのかデータがほしい。標準固定資産税、平均固定資産税、相続がどの程度発生して、相続税がどれくらいかの資料を提出すること。
- ・ 重点施策に書き込むときは、緊急性が高く、できるだけ具体的で、5年後、10年後に達成した数値評価ができるものにしたい。
- ・ 重点施策という意味で、重要な施策を三つとか、緊急性の高いものということも必要と思う。
- ・ 現行の評価はどうなのか、進んでいるものもあれば、足踏みしているものもあると思う。実現性、緊急性の高いものなどが最重点であるとの出し方も必要と感じた。
- ・ 重点施策10個の内、10年間でどれが比較的实现できていて、どれができていなかったというようなものがあれば、検討の材料としたい。
- ・ 例えば重点施策で、ごみの施策がかなり進んでいるのであれば、次の段階では最重点から外し、逆に農地の保全が進んでいないのであれば、何らかの具体的な施策を考え、最重点施策とする差引も必要と考える。
- ・ 評価をする時に、経済的にそれが可能か、現状の技術で可能か、という評価軸で施策を評価し、ウエイトの大きなものを重点施策にする必要がある。
- ・ 市民アンケートにそういう設問もある。市民が何を優先し、何が大事か、今後どう進めてほしいか、という設問もある。
- ・ 本日は、論点を整理し、重点施策について、いくつかキーワードを挙げてもらった。市民検討会での議論の結果を踏まえ、次回に議論する。
- ・ 文字通り重点施策は、全ての施策を必ずしも網羅するものではなく、環境基本計画の計画期間である5年もしくは10年間に、最優先で取り組まなければならない施策を掲げるという考え方であり、盛り込まれないから取り組まないということではない。
- ・ 優先度の高いもの、具体的に成果を検証できる施策の立て方が良いので、必要に応じて事務局に資料を提出してもらう。

(4) その他 市内の土壌の放射性物質測定結果について

- ・ 市内の状況を確認するため、昨年度と同じ場所の市立全小学校の校庭、東・中央・四谷保育所、小柳幼稚園及び西原町・日新町・多摩町・押立町公園の砂場と合わせ、女川町の災害廃棄物受け入れの関係から、郷土の森バーベキュー場を含む市内31か所で試料を10月16日に採取し、土壌中の放射性物質を測定した。
- ・ 結果は、放射性ヨウ素131が全ての場所で不検出(検出下限値未満)であった。放射

性セシウム134及び137の合計は、最大で1キログラム当たり110ベクレルであった。昨年8月16日に測定した値より概ね低い値で減少傾向であった。10月29日から市のホームページ及び11月1日号広報で公表している。引き続き、11月、12月に矢崎小学校、郷土の森バーベキュー場の2か所で測定する予定である。

- ・ 市民向けに貸出している放射線量測定器の利用頻度はどうか。
- ・ 当初、貸出しが多数あると想定したので、各文化センターに1台ずつ、合計11台を用意した。地域団体で地域を確認することで実施してきたが、個人利用の要望もあり、個人貸出しを4月1日から開始した。9月からは環境保全活動センターでの貸出しとし、環境保全活動センターでは、今日まで20件の貸出しがあった。
- ・ 貸出しは一定数を確保しながら、かんきょう市民の会、環境保全活動センターなどを中心に市民にお願いし、定点定時の測定をしてもらいたい。今後は、放射線マップを整理することが大事なので、継続的に特定地点でどのように変化しているのか、マップ作りをしないといけないと思う。行政レベルでは現在、学校を中心にやっているが、それだけではマップができないので、きめ細やかに市民を主体として、放射線マップを作ってもらいたい。環境保全活動センターの事業として具体的な進め方を整理し、報告してもらいたい。
- ・ PTA、先生が中心になり、通学路を測定していたと思うが、まだしているのか。
- ・ 小学校の通学路は、基本的に貸出しの測定器で気になる場所を測定していただくが、管理課が小学校の通学路を昨年に測定し、ホームページで公表している。
- ・ 当時はモニタリングポストが新宿にしかなかったもので、増設を都に希望していた。都で調布飛行場内に設置し、4月11日から24時間365日の測定が可能になり、平均的な数値は0.03の後半であり、3.11以前と変わらない状況である。

(5) 次回開催予定

- ・ 次回の開催は、平成25年1月22日（火）18時30分から、府中駅北第2庁舎3階会議室で開催とする。

以上